

# 加茂地区行動計画

## 地域みんながつながる心豊かな加茂！

(基本理念)

計画期間：平成30年度～平成33年度

### ～住んで良かったこの加茂に！～

近年、日本は昔と比べ少子高齢化や核家族化などにより「家族」を構成する人数は減少し、家族同士の関わり、隣近所の付き合い、支え合い助け合う「地域のつながり」が益々弱くなってきています。加えて、様々なことが原因で、一つの家庭でいくつもの生活上の問題を抱え、悩みながら生活を送っている家庭も少なくありません。

ここ加茂地区は「隣近所のつながり、地域の絆」は他地区に比べ根強いものがありますが、人口減少、そして少子高齢化、過疎化は急激に進行しており、そこに多くの課題が現れてきています。

そこで「加茂地区社会福祉協議会」が主体となって、「地区行動計画策定委員会」の皆様はじめ、多くの方々から意見を寄せていただきながら「住んで良かったこの加茂に！」を目指し、加茂地区の地域特性にあった「地域づくり」を目指す道標となる「加茂地区行動計画」を策定いたしました。

この加茂地区の地域づくりを皆様と一緒にになって取り組めたら幸いです。

平成30年4月

加茂地区行動計画策定委員会 委員長 花澤 廣吉  
(加茂地区社会福祉協議会会長)



▲いきいきサロン事業



▲旧敬老会事業



▲安心生活見守り支援事業



▲加茂地区行動計画策定委員会

# 目 次

## <基本理念> 地域みんながつながる心豊かな加茂！

1. 加茂地区の特性	1
2. この地域に住む人の悩みごと	2
3. この計画の期間と推進体制は	2
4. この計画の目標は	2
(1)重点取り組み目標	2
(2)基本目標①ふれあい支え合う地域づくり	3
(3)基本目標②生活支援体制づくり	3
(4)基本目標③安心・安全づくり	4
(5)基本目標④基盤づくり	4
5. 計画の体系図	6
6. 事業実施計画書	7
7. 計画の進行管理と評価	9
資料編	
(1)加茂地区にある社会資源	10
(2)計画の策定経過	11
(3)地区行動計画策定委員会委員名簿	12

## 《1. 加茂地区の特性》

加茂地区は市原市の最も南に位置し、農山間地域で自然に恵まれ、観光資源も豊富でありシーズンには多くの観光客で賑わっています。

しかしながら、人口の減少と少子高齢化が急激に進行し続け、昭和30年代に約1万5千人であった人口が年々減少し、現在は5,300人を割り、今尚、過疎化が進んでいます。

また、15歳未満の若年層割合は4.5%、高齢化率は46%を超え市内他地区と比べ突出しています。

交通アクセスは、小湊鉄道が地区の中央を縦断し、路線バスが北部から中部にかけて運行されていますが、本数が極端に少なくサービスレベルは低いうえ、医療機関やスーパーなどの社会資源も少なく高齢者にとって日常生活を営むうえで厳しい環境下といえます。

このような状況下の地区ではありますが、この地区は地縁、血縁関係者が多く、日頃から「支え合い・助け合い・気に掛ける」気質は根強く、「地域の絆」はしっかりしている地域であるとともに、地域の活性化をすすめるために地区住民が主体的に市民活動（ボランティア）による小湊鉄道の美化活動や里山活動に積極的に取り組んでいることから「住民力・地域力」が高い地域と言えます。

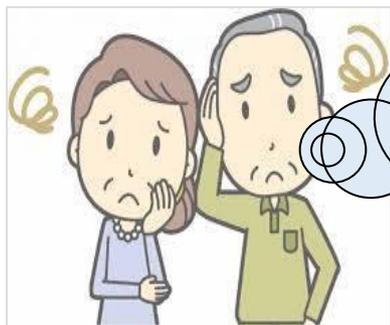


### ●加茂地区旧小学校区別人口統計

H29.5.1 現在

区分	市全体	加茂地区全体	旧白鳥小校区	旧富山小校区	旧高滝小校区	旧里見小校区
人口(人)	278,468	5,271	1,244	783	1,844	1,400
若年者人口(15歳未満)(人)	28,841	239	55	35	90	59
若年者人口割合(%)	10.4	4.5	4.4	4.5	4.9	4.2
高齢者人口(65歳以上)(人)	75,511	2,451	569	346	824	712
高齢者人口割合(%)	27.1	46.5	45.7	44.2	44.7	50.9
一人暮らし高齢者数(人)	17,225	655	127	71	202	255
高齢者のみ世帯数(世帯)	31,986	1,044	223	132	330	359

## 《2. この地域に住む人の悩みごと》



- 少子高齢化が進む中、人口も減少し地域の活気が薄れている。
- 地域の担い手が高齢化し、後継者もない。
- 高齢者同士楽しく交流する場、話をする場が欲しい。
- 高齢だから一人で暮らしているといろいろなことで不安になる。
- 子どもや孫が犯罪、交通事故に遭うことが心配だ。
- 病院や買い物に行きたいけど交通手段がない。

## 《3. この計画の期間と推進体制は…》

この計画の計画期間は、平成30年度から平成33年度までの4年間とします。

また、この計画を進めていく中心となる組織は「加茂地区社会福祉協議会」と旧小学校区ごとにつくられている「小域福祉ネットワーク」ですが、町会、地区民生委員児童委員協議会をはじめ福祉施設や様々な関係団体、そして、住民の皆様のご協力をいただきながら、みんなで力を合わせ、心豊かなまちを目指します。

## 《4. この計画の目標は…》



### 【重点取り組み目標】 (仮称)「加茂高齢者の集い」事業の推進

市原市の事業として、長い間、地区社協が主体となって市内各地で開催されていましたが「敬老会」が、平成29年度をもって終了となりました。

高齢化率が市内で最も高い加茂地区では、この「敬老会」は高齢者の方々を敬う場、お祝いする場、交流の場、ふれあいの場としてだけでなく、町会をはじめ地区内の様々な組織・団体、そして子ども達も一緒になり、地域が一丸となったイベントとして企画・運営することにより、地域全体の絆を深めるための重要な事業でありました。

このことから、加茂地区独自の事業として、平成30年度から(仮称)「加茂高齢者の集い」事業として新たに姿を変えて取り組むこととして計画化しました。(対象者：75歳以上)



▲旧敬老会事業



## **基本目標①・・・ふれあい支え合う地域づくり みんなでふれあい支え合う地域づくりをすすめます。**

### ○いきいきサロン事業

#### ◆推進主体：地区社協、社会福祉法人昭和村との協働

高齢者の方々の交流、仲間づくりの場として、また、福祉施設の協力をいただき食事を提供し、生きがいや介護予防・健康の増進を図る場として一層の充実に努めます。

### ○（仮称）「加茂高齢者の集い」事業・・・新規取り組み

#### ◆推進主体：地区社協、町会、各種団体、福祉施設との協働

高齢者を敬い、お祝いするとともに、ふれあいの場として、また、町会をはじめ地区内の様々な組織・団体が一丸となったイベントとして企画・運営することにより地域全体の絆を深めるとともに地域の活性化に繋がります。

### ○通いの場事業・・・新規取り組み

#### ◆推進主体：地区社協

高齢者が住み慣れた地域で、日常的に仲間とふれ合い交流できる「通いの場」づくりに向けて検討します。

### ○広報・啓発事業

#### ◆推進主体：地区社協

加茂地区の住民の皆様には地域福祉活動の理解や地区の様々な情報を提供するために、広報紙「かも福祉だより」などの広報の充実に努めます。

#### ◆推進主体：白鳥地区小域福祉ネットワーク、富山地区小域福祉ネットワーク 高滝地区小域福祉ネットワーク、里見地区小域福祉ネットワーク

地区内の住民の皆様には「小域福祉ネットワーク」活動の理解や地域の様々な情報を提供する。

### ○歳末たすけあい運動への協力

#### ◆推進主体：地区社協

歳末たすけあい運動の一環として、「募金活動」を行います。



## **基本目標②・・・生活支援体制づくり みんなの生活を支えるための体制づくりをすすめます。**

### ○安心生活見守り支援事業

#### ◆推進主体：白鳥地区小域福祉ネットワーク、富山地区小域福祉ネットワーク 高滝地区小域福祉ネットワーク、里見地区小域福祉ネットワーク

一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯からの希望に応じて、地域住民（安心訪問員）による「見守り活動」の充実に努めます。

## ○高齢者地域支え合い事業・・・新規取り組み

### ◆推進主体：地区社協

高齢者を地域で支える仕組みづくりに向けての「話し合い・議論の場（(仮称)高齢者地域支え合い会議：第2層協議体）の設置に向けた取り組みを推進します。



**基本目標③・・・安心・安全づくり**  
みんなが安心・安全に暮らせるまちづくりに努めます。

## ○子どもの見守り活動

### ◆推進主体：白鳥地区小域福祉ネットワーク、高滝地区小域福祉ネットワーク

児童、生徒の登下校時の見守り、声かけ、挨拶運動、通学路の危険個所の点検など、子ども達の安全を確保するための活動に積極的に取り組みます。

## ○安心生活見守り支援事業（再掲）

### ◆推進主体：白鳥地区小域福祉ネットワーク、富山地区小域福祉ネットワーク 高滝地区小域福祉ネットワーク、里見地区小域福祉ネットワーク

一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の希望に応じて、「福祉医療情報キット」を配布し緊急時に備えます。



**基本目標④・・・基盤づくり**  
みんなで取り組むための基盤づくりに努めます。

## ○連携・協働体制づくり事業

### ◆推進主体：地区社協

「地区社協」と「小域福祉ネットワーク」の連携強化、また、町会や地区内関係組織・団体、福祉施設等との連携・協働体制づくりを推進します。

## ○社会福祉法人・福祉施設との連携

### ◆推進主体：地区社協

社会福祉施設としての専門性、また、活動の場として施設の一部の提供などの協力を  
お願いし、施設と地域が一体となった事業展開を進めます。

## ○人材育成事業(住民座談会の開催)・・・新規取り組み

### ◆推進主体：地区社協、小域福祉ネットワーク、町会

地域に住む多様な世代が地域課題を共有するとともに、地域が一丸となって課題解決、  
活性化、発展のための意識を高める機会として「住民座談会」を開催します。

## ○地区社協賛助会員制度の充実

### ◆推進主体：地区社協

活動・事業を展開するうえでの財源として、また、地域福祉活動の理解を高めるため、地区社協賛助会員制度の拡充に努めます。



**加茂地区にある社会福祉法人・福祉施設4法人は、施設経営とあわせて地域福祉推進のため「地域貢献活動・地域づくり」に積極的に取り組みます。**

### 社会福祉法人・福祉施設の地域貢献活動一覧

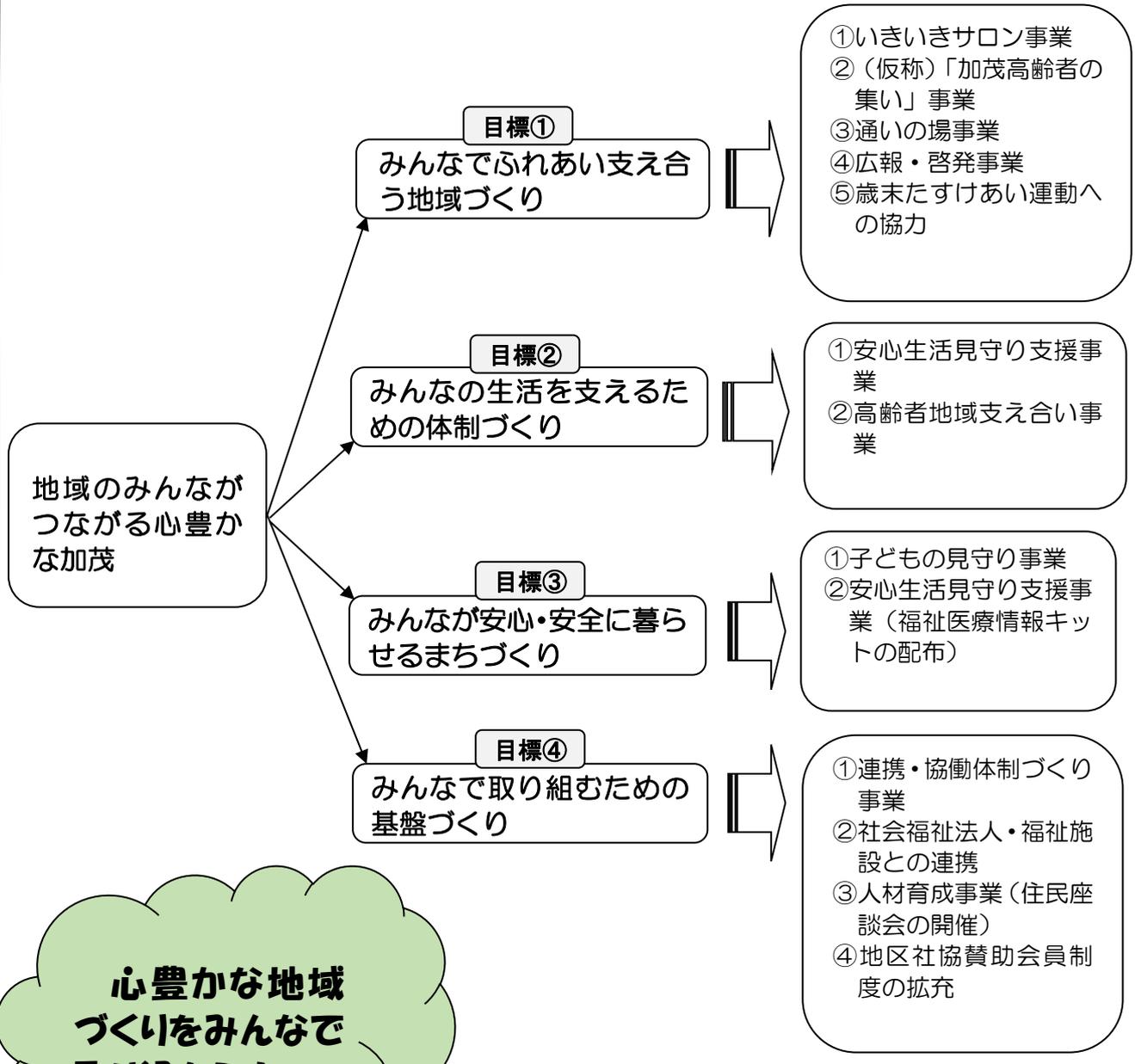
法人名	主な地域貢献活動
社会福祉法人 ききょう会 ・指定障害者支援施設 吉沢学園	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加茂地区社会福祉協議会事務局拠点施設の提供</li> <li>2. 地元町会の高齢者等への「通いの場」会場提供</li> <li>3. 地域行事への参加</li> <li>4. 法人が開催する行事へ地域住民を招待</li> <li>5. 地元町会行事への協力</li> <li>6. 社会福祉法人相互の連携強化</li> </ol>
社会福祉法人 市原うぐいす会 ・特別養護老人ホーム 緑祐の郷	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふれあい・いきいきサロン利用者送迎車輛の提供</li> <li>2. ふれあい・いきいきサロン利用者送迎車輛運転協力</li> <li>3. 地域行事への参加</li> <li>4. 法人が開催する行事へ地域住民を招待</li> <li>5. 地元町会行事への協力</li> <li>6. 社会福祉法人相互の連携強化</li> </ol>
社会福祉法人 加茂つくし会 ・特別養護老人ホーム 高滝神明の里	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふれあい・いきいきサロン運営協力</li> <li>2. 地域行事への参加</li> <li>3. 法人が開催する行事へ地域住民を招待</li> <li>4. 地元町会行事への協力</li> <li>5. 地元町会との合同防災訓練の実施</li> <li>6. 東日本大震災被災地への支援</li> <li>7. 社会福祉法人相互の連携強化</li> </ol>
社会福祉法人 昭和村 ・軽費老人ホーム 湊泉荘 ・特別養護老人ホーム 昭和村	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふれあい・いきいきサロン運営協力</li> <li>2. ふれあい・いきいきサロン開催会場の提供</li> <li>3. 地元青年団との合同行事の開催</li> <li>4. 地元町会との合同防災訓練の実施</li> <li>5. 地域行事への参加</li> <li>6. 地元町会行事への協力</li> <li>7. 法人が開催する行事へ地域住民を招待</li> <li>8. 施設利用料の減免制度</li> <li>9. 社会福祉法人相互の連携強化</li> </ol>

# 5. 計画の体系図

## 【基本理念】

## 【基本目標】

## 【活動・事業】



心豊かな地域  
づくりをみんなで  
取り組もう!



## 《6. 事業実施計画書》

以下の事業は、目標を達成するために、地区社協や小域福祉ネットワーク、また、地域にある組織・団体、福祉施設などが力を合わせて、皆様とともに取り組む活動・事業計画です。

### 1. みんながふれあい支え合う地域づくり

活動・事業名	推進主体	新規 継続	事業目的及び内容など	今後の方向性	年度別目標			
					30 年 度	31 年 度	32 年 度	33 年 度
いきいきサロン事業	地区社協 社会福祉法人昭和村	継続	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に福祉施設の協力を得て、ふれあいの場、仲間づくりの場を提供し閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「会食会」を開催する。 ・開催回数：年11回 10:30～14:00 ・会 場：市原園デイサービスセンター	より健康の増進が図られ楽しめるイベントを企画していく。	継続・充実			
(仮称)「加茂高齢者の集い」事業	地区社協 町会 各種団体 福祉施設	新規	平成29年度をもって市原市「敬老会」が廃止されたことに伴い、これに代わる加茂地区独自事業として、地域の様々な組織・団体と連携し実施する。 ・開催時期 9月 ・会 場：加茂公民館 ・対象者：75歳以上	限られた予算であるが、その中で企画・運営を充実したものとしていく。	新規・充実			
通いの場事業	地区社協	新規	高齢者が地域で日常的にふれ合い交流できる「通いの場」づくりに向けて検討する。	地域のニーズ、また、推進体制を踏まえ検討する。	検討			
広報・啓発事業	地区社協	継続	地域住民に対して、地域福祉活動の理解や地区の情報を提供するために広報紙「かも福祉だより」などの広報紙を発行する。 ・発行回数 年2回	広報活動を充実させるために、情報提供に係る広報のあり方について検討する。	充実			
	白鳥、富山、高滝、里見地区各小域福祉ネットワーク	継続	地域住民に対して、小域福祉ネットワークの理解や地域の情報を提供するために広報活動を行う。 ・発行回数 適宜	内容の充実に努める。	充実			
歳末たすけあい運動への協力	地区社協	継続	「歳末たすけあい運動」の一環として「募金活動」に協力する。	今後も積極的に取り組む。	充実			

## 2. みんなの生活を支えるための体制づくり

活動・事業名	推進主体	新規継続	事業目的及び内容など	今後の方向性	年度別目標			
					30年度	31年度	32年度	33年度
安心生活見守り支援事業	白鳥、富山、高滝、里見地区各小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や高齢者のみ世帯に「安心訪問員」が定期的に訪問し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう定期的に見守り活動を行う。	対象者を掘り起すとともに安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。	→ 充実			
高齢者地域支え合い事業	地区社協	新規	一層進む高齢化に対して、高齢者を地域で支える仕組みづくりに向けての「話し合い・議論の場(第2層協議体)」の設置に向けた取り組みを推進する。	市社協、市原市と連携し「地域包括ケアシステム」構築に向けた環境整備に取り組む。	→ 検討・推進			

## 3. みんなが安心・安全に暮らせるまちづくり

活動・事業名	推進主体	新規継続	事業目的及び内容など	今後の方向性	年度別目標			
					30年度	31年度	32年度	33年度
子どもの見守り活動	白鳥地区小域福祉ネットワーク	継続	児童、生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、挨拶の励行を呼びかける。	担い手の確保を図り、活動の充実に努める。	→ 充実			
	高滝地区小域福祉ネットワーク	継続	児童、生徒の登下校時に見守りを行い安全確保に努める。	同上	→ 充実			
安心生活見守り支援事業	白鳥、富山、高滝、里見地区各小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や高齢者のみ世帯また障がい者世帯に対し「福祉医療情報キット」を配布し緊急時に備える。	対象者を掘り起こすとともに活動を充実させる。	→ 充実			

## 4. みんなで取り組むための基盤づくり

活動・事業名	推進主体	新規継続	事業目的及び内容など	今後の方向性	年度別目標			
					30年度	31年度	32年度	33年度
連携・協働体制づくり事業	地区社協	継続	小域福祉ネットワーク(小域福祉圏域)間の情報や課題の共有また、地区社協(中域福祉圏域)との情報の共有、連携・協働体制を構築するために「小域福祉ネットワーク連絡会議」を定期開催する。	課題解決に向けた方策を協議することにより、相互理解と連携体制の一層の強化を構築していく。	→ 充実			

社会福祉法人・福祉施設との連携	地区社協	継続	社会福祉施設としての専門性、また、施設の一部を活動の場として提供などの協力をお願いし、施設と地域が一体となった事業展開を進める。	一層の連携、協働体制を構築する。	推進
人材育成事業（住民座談会）	地区社協 小域福祉ネットワーク 町会	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に住む多様な世代が地域課題を共有するとともに、それぞれが課題解決、活性化、発展のための意識を高めるために「住民座談会」を開催する。</li> <li>・高齢化と共に地域活動の担い手不足が深刻化している中、その確保に向けては地区全体の課題として捉え、地域の基盤となる町会の理解・協力を得ながら活動体制の維持に努める。</li> </ul>	現状の理解を深め、積極的に住民参加を求めている。	検討・実施
地区社協賛助会員の制度の充実	地区社協	継続	地域福祉活動・事業の理解や充実・強化を図るための財源確保のため「賛助会員」制度の拡充を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協活動事業の周知、理解の促進を図り、会員拡大に繋げる。</li> <li>・地区社協を構成する組織・団体への会員募集の働きかけを強化する。</li> </ul>	充実・強化

## 《7. 計画の進行管理と評価》

この計画の進行管理と評価については、加茂地区社協が中心となってい、また、必要に応じて見直すこととします。

## 《資料編》

### (1) 加茂地区にある社会資源

区 分	種 別	施 設 名
高齢者施設	地域包括支援センター	・トータス
	在宅介護支援センター	・市原園在宅介護支援センター
	特別養護老人ホーム	・市原園 ・緑祐の郷 ・高滝神明の里
	軽費老人ホーム	・溪泉荘
障がい者施設	指定障害者支援施設	・吉沢学園
子育て・保育	保育所	・高滝保育所 ・里見保育所
	小・中学校	・加茂学園
	放課後児童クラブ	・加茂学園
防 災	消防署	・加茂分署
	避難場所	・旧小学校（4校） ・加茂学園 ・ゴルフ場（7カ所）
	避難所	・加茂公民館
	福祉避難所	・特別養護老人ホーム （市原園 ・緑祐の郷 ・高滝神明の里） ・軽費老人ホーム （溪泉荘）
行政 コミュニティ	市役所支所	・加茂支所
	公民館	・加茂公民館
	町会（自治会）	・34町会（自治会）
コンビニエンスストア		・コンビニエンスストア（1店）
医療機関	診療所・歯科・薬局	・加茂診療所 ・田川歯科・薬局（1カ所）
交通機関	鉄道・バス	・小湊鉄道（7駅） ・バス路線（8路線） ・通院送迎（加茂診療所） ・福祉有償運送（1カ所）
金融機関	市原市農協	・高滝支店 ・月崎支店
	郵便局	・加茂郵便局 ・高滝郵便局 ・里見郵便局 ・加茂古敷谷簡易郵便局

## (2) 計画の策定経過

開催日	会議名	主な内容
平成29年 8月18日	地区社協役員会	・加茂地区行動計画策定に係る今後の取り組みについて
9月10日	地区社協理事会	・第5次市原市地域福祉活動計画について ・加茂地区行動計画策定について
11月8日	地区社協役員会	・「加茂地区行動計画策定委員会」の設置及び委員構成組織・メンバーについて ・加茂地区行動計画策定スケジュールについて
11月17日	第1回加茂地区行動計画策定委員会	・加茂地区行動計画策定の趣旨について ・「加茂地区行動計画策定委員会」委員長及び書記の選任について ・加茂地区行動計画策定スケジュールについて
11月26日	加茂地区小域福祉ネットワーク連絡会議	・第5次市原市地域福祉活動計画について ・加茂地区行動計画策定の趣旨について
平成30年 1月9日	地区社協役員会	・第2回加茂地区行動計画策定委員会について
1月26日	第2回加茂地区行動計画策定委員会	・今後の活動・事業の取り組みの方策について
2月23日	地区社協役員会	・加茂地区行動計画素案について
2月26日	第3回加茂地区行動計画策定委員会	・加茂地区行動計画素案について
3月17日	地区社協役員会	・加茂地区行動計画素案について
3月23日	第4回加茂地区行動計画策定委員会	・加茂地区行動計画素案について

(3) 地区行動計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

No.	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	明賀 彦之	加茂地区町会長会（会長）	
2	古茶 英晴	// （副会長）	
3	武内 博文	// （副会長）	
4	田村 孝之	加茂地区民生委員児童委員協議会（副会長）	
5	三森 俊彦	// （副会長）	
6	飯塚 忠義	// （副会長）	
7	加藤 澄敏	高滝地区小域福祉ネットワーク（会長）	
8	小宮 仁	富山地区小域福祉ネットワーク（会長）	
9	宮原 敏夫	白鳥地区小域福祉ネットワーク（会長）	
10	荒井 政孝	里見地区小域福祉ネットワーク（会長）	
11	根本 忍	社会福祉法人 市原うぐいす会 特別養護老人ホーム 緑祐の郷（施設長）	
12	杉田 知子	社会福祉法人 加茂つくし会 特別養護老人ホーム 高滝神明の里（施設長）	
13	林 壽美子	社会福祉法人 ききょう会 指定障害者支援施設 吉沢学園（理事長）	
14	花澤 廣吉	加茂地区社会福祉協議会（会長）	策定委員長
15	加曾利良弘	// （副会長）	
16	子安 節雄	// （副会長）	
17	吉川富貴子	// （副会長）	書記
18	岩淵 匡	// （事務局長）	